

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

審議日 令和5年8月3日、10日、9月1日

1 市民参画によるまちづくりの推進

【自治会や子ども会、老人会などの地域活動団体等への加入促進を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・自治会加入促進について、加入のメリットが伝わる仕組みづくりや説明をすること。
- ・活動ポイント等をため、市内の事業所で使用できる仕組みづくりを考えること。

【ボランティアに参画しやすい機会の提供や情報発信に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・年金の受給年齢の引き上げ、定年の年齢の引き上げにより、ボランティア活動を行う人材が不足している。ボランティアの人材の育成を図ること。
- ・ボランティア活動への参加意欲がある人は多いと思われるが、参加しやすい活動の紹介（HP等）、共助の仕組みづくりをすること。
- ・地域活動やボランティアを行う時期を見直すこと。
- ・各区の夏祭りや運動会等の開催により市民（区民）が参加する機会を増やすため、補助金制度を設けること。行事に参加したことをきっかけにして、ボランティアの参加に繋がることが多いため。

2 行政改革の推進

【公共施設の総合的な管理を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・空調等が壊れてから、修繕しても遅いので、早めに施設整備の更新を行うこと。
- ・避難所になる体育館等の公共施設は、命にかかわることなので、空調設備を整備すること。

【職員の働き方改革と対応能力の向上を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・渋滞対策のため、立地企業のみならず、職員も率先して時差出勤を行うこと。

- ・子の看護等で休暇をとるのではなく、子どもを見守りながら、業務に従事する時間を確保することもできるので、積極的にテレワークの制度の導入を行うこと。
- ・職員の窓口での対応について、対応する職員によって差があるので、職員の接遇について質の向上を図ること。

【市民のデジタルデバイト対策を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・マイナンバーカードの普及に伴い、市民対象のスマホ教室を充実させること。
- (対象年齢の拡大、時間を昼の部、夜の部と行う)

【外国人が暮らしやすい体制を整えること】

- ・外国人の転入が多くなることが考えられるため、窓口に外国人対応の職員を設置したり、広報紙を外国語対応にしたりすること。

3 財政の健全化

【自主財源の確保に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・企業誘致（半導体関係）して税収を増やすこと。
- ・法人税やふるさと納税を増やすため、市外在住の市職員が率先してふるさと納税を行う等、税収を増やす取り組みを行うこと。
- ・自主財源の確保に努めること。
- ・誘致した企業からの税収を示すこと。

【歳出の適正化に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公平なお金の使い方をする事。

【将来を見据えた計画的な施設の建設を行なうこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・学校建設など未来を見据えた建設をすること。
- ・財政計画にそった施設の建設を行なうこと。
- ・合志市は、子どもの増加に伴い、小学校、中学校の新設、増設が考えられる。その際の施設づくりは、人生 100 年時代を見据えた多目的に利用できる施設づくりをすること。(例：避難所、子どもの減少に伴い空き校舎の有効活用等)

4 子育て支援の充実

【保育士の確保や、保育施設の受入体制を整備し、子育て環境を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・保育士の業務負担軽減の為、清掃員等を確保する補助金の導入を検討すること。
- ・保育士不足解消のため、保育士の家賃補助制度の創設を検討すること。
- ・保留児童に対しても救いの場を与えるような取り組みをすること。

【地域と行政が一体となった子育て環境を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・行政と自治会の役割分担を行い、効果のある取り組みに努める。
- ・子供会の減少に対し、対策を実施すること。
- ・ひとり親家庭の実態を把握し、支援を行うこと。

5 健康づくりの推進

【健康増進の機会を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・歯科特定健診について、近隣市町も受診できるよう検討すること。
- ・学校施設の利用をもっと解放し、運動できる機会を増やすこと。

6 社会福祉の推進

【自治会加入の必要性を地域と行政が一体となって周知すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・自治会と個人の生活とのバランスを考える。自治会が熱心すぎるのも弊害となる。
- ・自治会加入者を増やす努力を行政もすること。

【集いの場や見守り体制の充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・各地にあるサロンを充実させること。
- ・民生委員・児童委員の欠員を早々に解消すること。

7 高齢者の自立と支援体制の充実

【高齢者が参加できる活動の場を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・児童福祉施設（保育園、幼稚園など）での読み聞かせ、清掃作業等のボランティア活動を通して、地域と交流し、ふれあいや生きがいにつながる活動の充実を図ること。
- ・老人会への新規加入者が減少しているおり、新規加入者の確保に向けた取り組みをすること。
- ・公民館だけでは集まれる人数に限界があるため、大人数で利用できる施設の充実を図ること。
- ・高齢者が活動できる場の選択肢を広げるため、送迎や移動手段の充実を図ること。
- ・高齢化が進む中、認知症対策を充実させること。
- ・高齢者は、自宅に閉じこもりがちになるので、外での活動が少しでもできるように啓発活動を行い、健康教室等コミュニティごとの取り組みを推進すること。

8 障がい者（児）の自立と社会参加の促進

【療育施設、保育園等の職員の確保及び資質向上のための施策を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・保育園、小中学校等の支援学級の職員を確保すること。
- ・療育施設職員への研修及び専門知識習得の補助を実施すること。

【障がい者（児）を持つ家族の交流の場の確保に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・障がい者（児）を持つ家族の交流の場の充実を図ること。

【障がい（児）者の相談体制を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・障がい者の就労や生活の上での相談体制の充実を図ること。
- ・障がい者（児）の社会参加についての支援を充実させること。

9 義務教育の充実

【教育の内容の充実と公平な学習機会の確保を行なうこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・タブレットの使い方、宿題の量、体力のない子どもの増加…学校や先生によって取り組みに違いがある。
- ・文字・算数などの基礎学習の強化を図ること。正しい書き順で書けない子どもが増えている。

【先生の負担を軽減し、子どもに関わる時間を増やすこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・グリーゼンの子どもの対応で、先生の負担が増えている。
- ・不登校の対応は中学校区ごとに支援員を一人配置とのことだが少ない。小学校に一人配置を検討すること。
- ・教師を増やすために合志市独自の先進的な取り組みを行なうこと。

【長期休みなどに利用できる学校以外の子どもの居場所づくりを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・学校以外で勉強できる場が少ない。(図書館の自習スペース少ない、市民センターロビーの利用が周知されていない)
- ・市有地(泉ヶ丘消防署跡・須屋浄化センター跡など)の利活用で、子どもの居場所づくりを行なうこと。

10 生涯学習の推進

【生涯学習講座の内容の見直しや、周知の強化に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・行政主催の講座では最近同じ内容の講座が多く開催されているので、多種の講座を取り入れること。
- ・昼間や夜間の開催時間の割合を考えて受講しやすいようにすること。
- ・市ホームページに掲載するだけでなく、周知方法を見直すこと。
- ・民間委託したということだが変化をあまり感じない。
- ・行政が募集して集まりが悪い講座を民間が行なっていて人気があるのであれば、協賛するなどして民間を活用すること。(日本語講座)
- ・人材(財)バンク制度登録を積極的に行い、さまざまな分野の経験者による生涯学習の充実を図ること。

【社会教育施設を平等に利用できるよう工夫すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・施設料が高く納得いかなところがある。(泉ヶ丘市民センター多目的室)
- ・図書館を自習室として開放するのはいい事だが、占有されないよう工夫すること。
(利用開始時に申込受付簿に利用時間を記入し声掛けを行なうなど)

11 生涯スポーツの推進

【スポーツ推進委員の確保を行なうこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・自治会長・コミュニティー・学校関係者・PTA などによって知名度や利用頻度に格差があるため、周知啓発を強化し、スポーツの推進につなげること。
- ・各地区やコミュニティから1名のスポーツ推進委員を推薦し、委員の確保に取り組むこと。
- ・合志市の人口規模から行くと30名以上の委員を確保すること。

【スポーツ推進委員の活用を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・子ども会・老人会など地域活動の活性化を進めるため、行政が積極的に協力すること。
- ・ある程度の年齢を過ぎるとなかなかスポーツを継続できない。スポーツから離れてしまった層が始めやすい室内スポーツを行なえる機会を増やすこと。
- ・児童生徒の体力低下を見据えて、合志市内の小中学校独自のスポーツ行事を行なうような取り組みをすること。
- ・興味がないせいか、スポーツ推進委員の存在があまり知られていないため、啓発活動を強化すること。

1 2 人権が尊重される社会づくり

【インターネット上のいじめがなくなるよう人権教育に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ネットでの問題(いじめ・SNS)はスピードが速く、理解や対応が追いつかないため、人権教育の更なる強化を図ること。
- ・ネットの投稿削除にはとても時間がかかり、拡散された情報は取り返しがつかないため、子どもたちに情報モラルの教育を繰り返し行うこと。
- ・専門家が必要。(ICT推進員1～2名)

【恵楓園と連携した合志市独自の人権教育を行なうこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・恵楓園での学習を重視すること。
- ・楓の森小中だけでなく、市内の児童生徒みんなに身近な人権問題としてハンセン病学習をしてほしい。

1 3 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成

【ふるさとカルタを活用して郷土愛を醸成する取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・ふるさとカルタはふるさとへの興味関心を引き出すきっかけとなりうるため、認知度を上げること。
 - ・ふるさとカルタを市内小中学校などの教育プログラムに組み込み、大会を開催すること。
- また、幼児向け・外国語版（制作中）などバリエーションを増やすこと。
- ・カルタに関する文化財を動画でも紹介すること。

【伝統文化の後継者や語り部等の人材育成を行うこと】

- ・合志市の歴史・伝統文化の継承。語り部の高齢化にともなう後継者の育成。
- ・伝統行事の参加や継承する人々の育成。地区だけに限らず校区で募集するなど範囲を広げる。
- ・歴史・伝統文化等を活かしたまちづくりを行い、交流人口を増やし、地域の活性化につなげる。こと。（例：竹迫城周辺を活かした散策巡り、農業公園を活かしたイベントの開催等）

1 4 危機管理対策の推進

【緊急事態の避難行動について周知し、市民の意識向上を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・緊急時の行動について市民へ周知徹底すること。
- ・危機管理上の意識改革を市民へ促すこと。
- ・シェルターの設置を検討すること。

1 5 防災対策の推進

【避難行動要支援者への確実な支援体制に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・避難所までいく交通手段がない人がいるため、地域に避難所開設をすること。
- ・避難所にいくことを不安に思う人が安心して避難できる体制を整えること。
- ・公民館を避難所にする体制を構築すること。

【自主防災組織の結成につながる支援や取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・区から一定数の防災士を確保するような取り組みをすること。
- ・防災士の育成に力を入れること。
- ・地区防災計画に基づく自主防災組織の結成が必要。
- ・自主防災組織がないところは、自治会長を長としてまず立ち上げてもらいその後体制を整えていくようにする。
- ・自主防災組織に防災士を取り込み連携した取り組みを推進すること。

1 6 交通安全対策の推進

【ドライバー・歩行者のマナー向上を図り事故を減らす取り組みをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・人口増に対するインフラの整備スピードが追い付いていないため、ドライバーの意識向上を図って、安全を確保すること。
- ・ドライバーがマナーを守り、生活道路を通り抜けしない取り組みをすること。
- ・子どもたちの通学道路の通行（車）を厳しく取り締まること。

【危険箇所に道路安全施設等を整備し、安全確保に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・スクランブル交差点を増やして通学路の安全を確保すること。
- ・生活道路にはハンプの設置をするなど、市民が安全に暮らせる環境を守ること。
- ・危険箇所を洗い出し、安全対策をすること。
- ・スクールゾーンの時間規制が守られるよう警察とも連携を強化すること。
- ・スピード制限の標識を増やし、安全対策を推進すること。

【高齢者が安心して免許返納できるような支援を充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・高齢の免許返納者への支援を充実させて、高齢者の事故を減らす取り組みをすること。

【インフラ整備に頼らない取り組みで渋滞を緩和させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・時差出勤による取り組みで渋滞緩和につなげること。
- ・マイカー通勤者以外には、特典を与えるなど渋滞を減らす取り組みで、交通安全の確保をすること。

1 7 防犯対策の推進

【防犯カメラの整備に繋がる取り組みを実施し、防犯を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地区に防犯カメラを設置した際のメリットをPRして、設置促進につなげること。
- ・防犯カメラ設置による防犯抑止に繋がる取り組みをすること。
- ・児童の通学路に防犯カメラを設置すること。

【犯罪から市民を守る講習の充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・特殊詐欺に対する市民への啓発や、出前講座の充実。

- ・犯罪に合わないための講習の実施。

【地域で行なう防犯活動の支援をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・子供の帰宅時間に合わせた見守り隊の組織強化を図ること。
- ・防犯団体が増えるような取り組みを行うこと。
- ・日頃から近所とのコミュニケーションを取り、防犯に繋がるような取り組みをすること。

18 住環境の充実

【大規模公園の適切な樹木管理をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公園の適切な維持管理を行うこと。
- ・公園内の樹木の適正な管理を行うこと。

【公園内に大人向けの健康器具の設置をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・街区公園へ健康器具の設置をすること。

【空き家の有効・利活用の周知強化をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・空き家の有効・利活用のPR強化をすること。

【気候変動に対応した雨水対策を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・気候変動に対応した雨水対策を行うこと。
- ・想定外の大雨に対する早急な水害対策の整備を行うこと。
- ・道路が水没し通れなくなる箇所については通勤・通学に支障が出るので、早急に対策をすること。(須屋ローソン前等)

19 水環境の保全

【水資源の保全に向けた周知啓発を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地下水保全のための取り組みを周知すること。
- ・地下水資源の大切さを訴え、節水意識の向上を図る活動をすること。
- ・雨水タンク購入設置補助金の内容が、市民に伝わっていないので、周知すること。

2 0 水の安定供給と排水の浄化

【上水道の水質の安全管理に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・水質検査を適切に行うこと

【水の安定供給に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・水の安定供給には、計画をもって取り組むこと。
- ・人口増加や企業立地により、水不足に陥らないよう、企業等へ自助努力を促すこと。

2 1 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

【ごみ減量化、資源化への啓発を強化し意識向上を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・事業所ごみの減量化のため、事業所に対して啓発を強化すること。
- ・自治会や子ども会等に再生資源集団回収助成金の周知を行い、ゴミの分別や減量化について、積極的に出前講座等で啓発すること。
- ・ごみの減量化や、費用対効果を考慮して、ごみ袋の値上げを検討すること。
- ・台所のゴミの水分量を減らし軽減化に繋がるような取り組みを推進すること。

2 2 地球温暖化防止対策の推進

【公共施設における省エネ推進策を強化すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公共施設の LED 化を推進すること。
- ・公共施設における再生エネルギーの活用を検討すること。

【脱炭素対策のための取り組みや啓発を推進すること】

- ・脱炭素推進対策補助金の内容を広く周知すること。
- ・各家庭でグリーンカーテンを設置するような取り組みを市が推進すること。

2 3 計画的な土地利用の推進

【市街化調整区域で農業者が事業展開できるよう規制緩和を検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・調整区域内では、地域の実情にあった規制緩和をすること。

【国・県有地の有効活用について推進を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・国・県有地の有効活用の推進を図ること。

2 4 計画的な道路の整備

【安全安心な道路環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・幹線道路を整備し、通学路の安全を確保すること。
- ・交通量調査を実施し、ニーズに合った道路環境整備（右折レーンの設置等）を行うこと。

【国道 387 号と県道大津西合志線の 4 車線化を早期に実現させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・国道 387 号、大津西合志線の渋滞解消に努めること。
- ・国道 387 号、大津西合志線の 4 車線化を推進すること。

2 5 公共交通の充実

【コミュニティバスの利便性の向上に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・費用はかかるが、路線網を充実させること。
- ・乗り継ぎについて検討すること。
- ・コミュニティバスの利便性を向上させること。
- ・新たにできた御代志駅、かすみヶ丘、アンビーなど、施設を結ぶ路線をつくること。
- ・公共交通対策による渋滞対策を実施すること。
- ・コミュニティバスのバス停にベンチを設置すること。

【自家用車から公共交通へ転換する取り組みを実施すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・車の利用者による交通行動の変更を促すため、TDM（交通需要マネジメント）の視点で、道路整備に加えて円滑な交通量を実現することも必要である。例えば、電車やバスなどの公共交通機関への利用転換、パークアンドライド等の取組が重要である。
- ・バス利用 50 円や、一日乗り放題無料などの取り組みをして、公共交通の利用者を増やすこと。

【バス無料の日を設定するなど利用につながる取り組みをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・公共交通無料の日を作って、公共交通が便利なることを知ってもらう取り組みをする。

- ・1年に1～2回、バス50円の日を作って、公共交通の利用につなげる。

【高齢者にやさしい公共交通にすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・免許返納を考えた高齢者が返納しやすい環境を整えること。
- ・高齢者にやさしい時刻表やルート設定をすること。

26 農業の振興

【社会情勢に応じた農業者への支援を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農業用資材等の高騰に対する支援を行うこと。

【新規就農者が増えるような取り組みをすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・新規就農者が増えるような環境整備の仕組みづくりをすること。

【農商工連携事業について継続した事業展開をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農商工連携事業は、更なる挑戦を続けること。

【スマート農業を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・農業用ドローン(農薬散布・種子散布)の技術取得に対する支援や財政的支援をすること。

27 商工業の振興

【会員が増えるような魅力ある商工会の運営に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・商工会の活動を活性化させること。
- ・創業者が増えるような努力を行うこと。
- ・商工会の加入数を上げるよう努めること。

【合志ブランド品の開発や、開発した商品を継続して改良するよう努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・合志ブランド品の立ち上げにチャレンジを続けること。
- ・開発した商品を改良するなど継続した努力を行うことで、商品を一時的なもので終わらせないこと。

2 8 企業誘致の促進と働く場の確保

【工業用地は、山林・竹林を活用した造成を検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・企業誘致するための適地を常に考えること。
- ・工業団地の造成については、土地の有効活用の観点から優先的に山林・竹林を検討すること。

【市民の働く場の確保や、働きやすい環境整備に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ・地元の雇用につなげ若者の定住につなげること。
- ・市民の働く場の確保を行い、育児や介護を担っている人たちが働きやすい環境整備に努めること。
- ・高齢者等が働ける環境づくりの整備に努める。